

# 左側

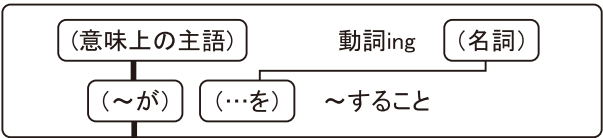
英文法地図  
ダウンロード版

切り取り ↓

## 動名詞

名詞の働きをする

準動詞



意味上の主語	文の主語と異なる場合	
代名詞の場合	所有格	／ 目的格
名詞の場合	所有格 's	／ そのままの形

否定	not [never] 動詞ing	「～しないこと」
完了形	having 過去分詞	述語動詞よりも以前のこと
受動態	being 過去分詞	

there is no 動詞ing 「～できない」	feel like 動詞ing 「～したい気分だ」	look forward to 動詞ing 「～することを楽しみに待つ」
worth 動詞ing 「～する価値がある」	it is no use [good] 動詞ing 「～しても無駄だ」	be動詞 used to 動詞ing 「～することに慣れている」
would you mind 動詞ing ? 「～していただけますか」	keep [prevent/stop] O from 動詞ing 「Oが～するのを防ぐ」	無生物主語でよく使われる

### 動名詞と不定詞

- 目的語が動名詞か不定詞かで意味の異なる動詞

目的語 ↓	forget	remember	stop
動名詞	～したことを忘れる	～したことを覚えている	～するのを止める
不定詞	～し忘れる	忘れずに～する	～するために立ち止まる

目的語 ↓	try	regret	be動詞 anxious
動名詞	（試しに）～してみる	～したことを後悔する	～を心配している
不定詞	～しようと試みる	残念ながら ～しなくてはならない	be動詞 anxious about 動詞ing ～することを切望している

want/need 動名詞 「～される必要がある」 want/need 不定詞 「～したい／する必要がある」

- 動名詞を目的語にとる動詞

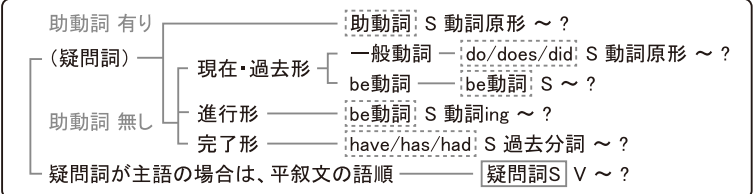
admit	avoid	enjoy	escape	finish	mind	practice
consider	deny	imagine	miss	postpone	quit	suggest

- 不定詞を目的語にとる動詞

agree	decide	hope	offer	plan	promise	wish
desire	expect	learn	manage	pretend	refuse	seek

## 疑問・否定・感嘆・命令・強調・倒置

疑問文      現在形 [do/have 3人称単数 does/has]      過去形 [did/had]



付加疑問 文尾に付け足す

～ ,	do [does/did] / be動詞	(not)	Sの代名詞 ? 「～ですよ」
	have [has/had] / 助動詞		肯定文の後のみ

疑問詞が文頭に無い疑問文の答え Yes, Sの代名詞. No, Sの代名詞. not.

### 間接疑問

名詞節	疑問詞以下は平叙文の語順 文の主語・補語・目的語になる
疑問詞 S V	疑問詞が主語になる場合は〈疑問詞 V〉

### 否定文

助動詞 有り	S 助動詞 not 動詞原形 ～
助動詞 無し	現在・過去形 S do/does/did not 動詞原形 ～ / S be動詞 not ～
	進行形 S be動詞 not 動詞ing ～
	完了形 S have/has/had not 過去分詞 ～

### 準否定

ほとんど～ない	程度	頻度	数	量
	hardly	scarcely	rarely	seldom
			few	little

a few / a little 「少しはある」

### 感嘆文

How 形容詞 (S V) !	「なんて～なんでしょう」
What (a [an]) 形容詞 名詞 (S V) !	「なんと～な…なんでしょう」

### 命令文

コンマを付けて文尾に付けることも可能	禁止
(please) 動詞原形 …	Don't 動詞原形 … . []
「～しろ／～してください」	「～するな」
依頼を表す場合	be動詞の場合も 〈Don't be …〉

Let's 動詞原形 「～しましょうよ」 Let's not 動詞原形 「～するのはやめよう」

### 強調

副詞／名詞の強調	強調構文	It is / was	強調したい	副詞 名詞	(that) ～	who / which も可能
動詞の強調	S do / does / did 動詞原形 ～					

### 倒置

否定を示す副詞(句)を文頭に出すと、以後は疑問文の語順	never / at no time / on no account / under no circumstances / only / 準否定
Not until 平叙文の語順 疑問文の語順	「～して初めて、…」
Not only 疑問文の語順 but (also) 平叙文の語順	「～だけでなく、…も」

# 英文法地図

## 関係詞

説明を加える節を作る

関係代名詞 名詞節を作る

先行詞 ↓	主格	所有格	目的格
人	who that	whose	whom / who that 省略可能
人以外	which that	名詞を伴う	which that 省略可能
—	what	—	what

what 「～すること[もの]」 = the thing(s) which  
主格の場合、関係詞節が現在形なら先行詞に応じて、動詞に〈3人称単数s〉が必要

先行詞が人以外で、特定のものを表す修飾語を伴う時 the first / the only / the very / the same / the 最上級	先行詞が人以外で、特定のものを表す修飾語を伴う時 the first / the only / the very / the same / the 最上級
先行詞に、all / every / any / no を伴う時	先行詞に、all / every / any / no を伴う時
先行詞に、人と人以外のものが含まれる時	先行詞に、人と人以外のものが含まれる時
前置詞やコンマの後（継続用法）	前置詞やコンマの後（継続用法）

前置詞と関係代名詞 （先行詞が人で前置詞の目的格の場合）

口語体	（関係代名詞省略） ——— 前置詞
↑ ↓	who [that] ——— 前置詞
文語体	whom ——— 前置詞
	前置詞 whom ———

限定用法	関係詞の前に	コンマ無し	（先行詞を限定）
継続用法	関係詞の前に	コンマ有り	（先行詞の補足説明）

複合関係代名詞	任意・名詞節	譲歩・副詞節
whoever	「～する人は誰でも」	「誰が [を] ～しようとも」
whichever	「～するものはどれでも」	「どれが [を] ～しようとも」
whatever	「～するものは何でも」	「何が [を] ～しようとも」

関係副詞 副詞節を作る

先行詞 →	場所・状況	時	reason(s) 省略可能	—
関係副詞	where	when	why	how
継続用法〈,〉	○	○	×	×

how = the way (in which) 「～という方法で」 the way how は不可

複合関係副詞	任意	副詞節	譲歩
whenever	「～する時はいつでも」	「いつ～しようとも」	
wherever	「～する場所ならどこでも」	「どこで [へ]～しようとも」	
however 形容詞／副詞	—	「どれほど～でも」	

関係代名詞と関係副詞の違い

関係代名詞に続く節	関係副詞に続く節
以下のいずれかが欠けている 主語 動詞／前置詞の目的語 所有格	完全な文

## 比較

as 原級 as ～ 「～と同じくらい…」	否定 not as [so] 原級 as ～ 「～ほど…ではない」
形容詞／副詞そのまま	単数名詞を伴う場合 as 形容詞原級 a [an] 単数名詞 as ～
as many 複数名詞 as ～ 「～と同じくらいの」 数	half 「半分」
as much 不可算名詞 as ～ 「～と同じくらいの」 量	one-third 「3分の1」
倍数 [分数] as 原級 as 「～差で」	two-thirds 「3分の2」
	twice 「2倍」
	X times 「X倍」

[much / still / far / even] 原級 er / more 原級 (that of ～ 「～のそれ」) ○ 差を表す表現	(a little [a bit]) (○) 比較級 than ～ (by ○)
a lot 是るかに / わずかに	～より… ○ 差で
more 複数名詞／不可算名詞 than ～ 「～より多くの…を」	特定の2つ(人)を 比較する場合
less 形容詞／副詞 than ～ 「～より…でない」	〈the 比較級〉

副詞の場合は省略可能 形容詞最上級を伴う 原級 est / most 原級	(much [by far]) the (very) 最上級	of 構成要素
抜群に	もつとも…	in 範囲・場所
the 序数 形容詞最上級 単数名詞	「～番目に…」	first second third fourth
the least 形容詞／副詞	「もつとも…ない」	

最上級相当の表現

no (other) 単数名詞 … as [so] 原級 as ～ 「～ほど一な…はない」	「～より一な…はない」
no (other) 単数名詞 … 比較級 than ～	「ほかのどの～より…」
比較級 than any other 単数名詞	

[superior / inferior / senior / junior] to prefer A to B 〈than〉の代わりに〈to〉	「AというよりむしろB」
one of the 形容詞最上級 複数名詞	「～の1つ」
as 原級 as possible / as 原級 as S can [could]	「できるだけ～」
not so much A as B / more B than A / B rather than A	「～するほど」
the 比較級 S V, the 比較級 S V	

all the 比較級 [ for 名詞(句) because S V ] 「～だから、ますます…」	クジラ構文
as many [much] as 数詞 「～もの」	no more ～ than … 「…と同様に～ではない」
比較級 and 比較級 「ますます～」	no less ～ than … 「…と同様に～だ」

不定詞

名詞・形容詞・副詞の働きをする

準動詞

to 動詞原形	名詞的用法 「～すること」 前置詞の目的語にはできない
	形容詞的用法 「～するための／～すべき／～する」
	副詞的用法 「(～するために)／～して／～なんて」 (.) only to 動詞原形 「～しただけだった」 = in order to 動詞原形／so as to 動詞原形 = in order that S V／so that S V 節が続く場合
否定 not [never] to 動詞原形	意味上の主語 文の主語と異なる場合 for of 意味上の主語 to 動詞原形 代名詞は目的格 人の性質を表す形容詞に続く場合 形式主語 it is [was] 形容詞 for [of] 意味上の主語 to 動詞原形
完了形 to have 過去分詞 述語動詞よりも以前のこと	
受動態 to be 過去分詞	
進行形 to be 動詞ing	

S (V) O to 動詞原形 (for 無し) [ ] 無生物主語でよく使われる

希望 want / expect / prefer 許可 allow / enable / permit 依頼 tell / ask / advise 強制 get / force / cause

原形不定詞 (for to 無し) [ ] 受動態の場合は(to)が必要 <be動詞 過去分詞 to 動詞原形>

知覚動詞 Oが～するのを 見る / 聞く / 感じる look at / watch / listen to / notice / observe	see / hear / feel O 動詞原形
使役動詞 Oに～を させる / してもらう / 許可する	make / have / let O 動詞原形

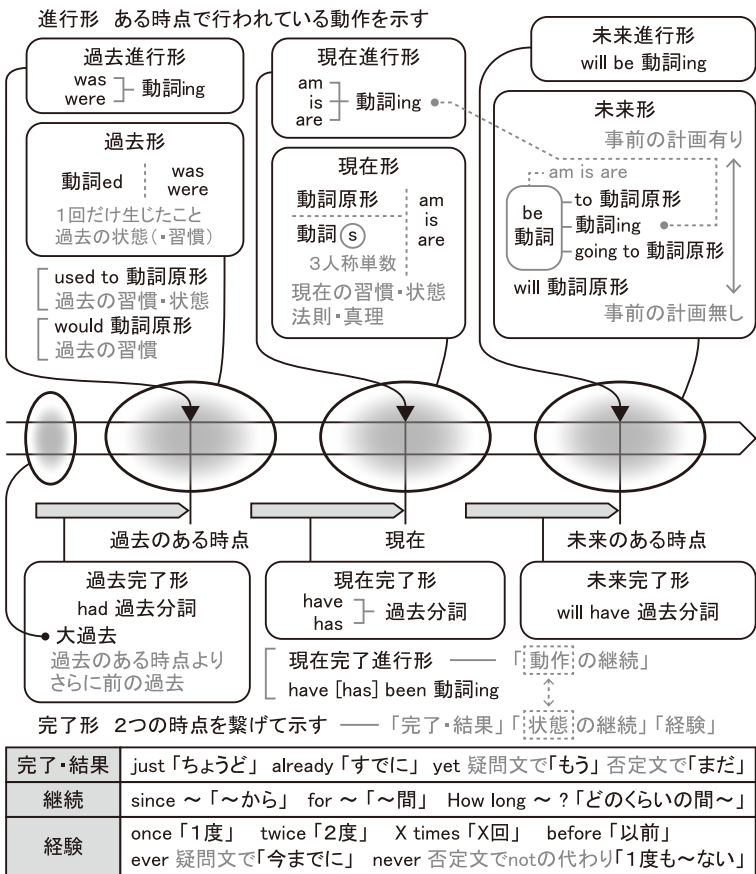
too 形容詞 [副詞] to 動詞原形 「～するにはあまりに…すぎる」  
形容詞 [副詞] enough to 動詞原形 「～するのに十分…」 \*  
be動詞 to 動詞原形 義務・予定・運命・可能・意図を示す

S happen to 動詞原形 「Sは偶然～する」 so 形容詞 [副詞] as to 動詞原形 「～するほど…」 \* S seem [appear] to 動詞原形 「Sは～のようだ」

疑問詞 to 動詞原形 「疑問詞の意味～するか」 come [get / learn] to 動詞原形 「～するようになる [なった]」 S prove [turn out] (to be) ~ 「Sは～だとわかる」

時制

過去形・現在形・未来形／進行形・完了形



文型

S 主語 V 動詞 O 目的語 C 補語 他動詞は目的語をとる				
第1文型 S V	名詞 S	自動詞 →	副詞や前置詞句を伴うことが多い	
第2文型 S V C	名詞 S	自動詞 =	名詞／形容詞 C	be動詞／become／taste／seem
第3文型 S V O	名詞 S	他動詞 →	名詞 O ～を	
第4文型 S V O O	名詞 S	他動詞 →	名詞 人 O ～に 名詞 物 O ～を	書き換え S V O [to for] 人 書き換え不可 take / cost の場合は「～から」 相手が必要の動詞 give / send / show / teach 方向 相手が必要では無い動詞 buy / cook / get / make 利益
第5文型 S V O C	名詞 S	他動詞 →	名詞 O ～を 名詞／形容詞 C ～と／～に	形式目的語 S V it C to 動詞原形 / S V it C that S V
There be動詞 ~	現在形 「～がいる／ある」 過去形 「～がいた／あった」 → 初めて話題に登場する、特定されない人・もの			

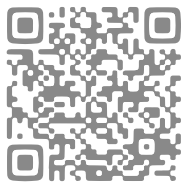
中央

英文法地図  
ダウンロード版

切り取り  
↑

利用規約

公式サイトよりダウンロードした本人の  
学習目的での使用のみ可能です。  
データ及び、印刷媒体での販売や再配布は、  
固く禁じます。商用利用はできません。  
※ 著作権は放棄していません。  
【英文法地図】は登録商標です。



詳しい使用・活用方法はこちらで紹介

公式サイトで販売中

- 英文法地図／例文集 (ダウンロード販売)  
英文法地図に対応した 361 例文を掲載  
・ 簡単な単語 (中学 2 年・英検 3 級易しめ)  
・ 短く、かつ自然な例文  
・ 文法構造を示す太字と マーカー
- 英文法地図／通常版 (筒状に丸めて郵送)  
・ 文法項目間の関連性を示す線  
・ A1 サイズ・カラー・厚口マット紙  
・ インテリアに適する高いデザイン性



# 右側

英文法地図  
ダウンロード版

切り取り  
→

## 分詞

形容詞の働きをする

準動詞

現在分詞	～している	動詞ing	〈-----〉 動名詞は「～すること」
過去分詞	～された	動詞ed	動詞の過去分詞
名詞を修飾	分詞1語の場合	分詞	名詞の前
	他の語を伴う場合	名詞 分詞 □□	名詞の後
C Sの補語	S (V) 分詞	S=分詞の関係 「～しながら／～されて」 継続 keep／remain 状態 walk／sit／come／stand	
C Oの補語	S (V) O 分詞	O=分詞の関係 keep／leave／want／find	

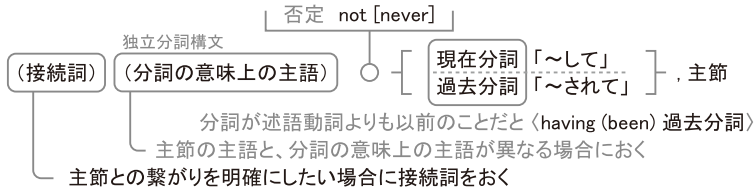
have [get] O 現在分詞 「Oを～させる」  
have [get] O 過去分詞 「Oを～してもらう／される」 (使役・被害)  
make O 過去分詞 「Oを～されるようにする」 understood／heard／known

知覚動詞 動詞原形だと一部始終、現在分詞は動作の一時点

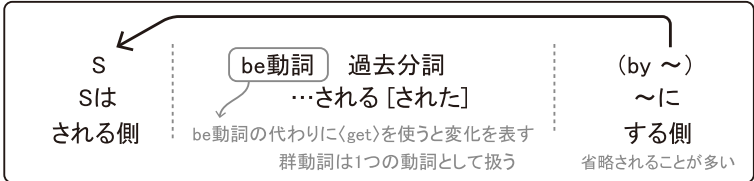
see [hear／feel] O 現在分詞 「Oが～しているのを見る／聞く／感じる」  
see [hear／feel] O 過去分詞 「Oが～されているのを見る／聞く／感じる」

付帯状況  
with 名詞 分詞 「名詞が～している状態で／～されている状態で」

分詞構文



## 受動態（受け身）



否定	be動詞 not 過去分詞 / 助動詞 not be 過去分詞
疑問文	(疑問詞) be動詞 S 過去分詞 ? (疑問詞) 助動詞 S be 過去分詞 ? 疑問詞 be動詞 過去分詞 ? — 疑問詞が主語になる場合
助動詞	助動詞 be 過去分詞
完了形	have [has／had] been 過去分詞
進行形	be動詞 being 過去分詞 「～されているところだ [だった]」

It is said [believed／expected／known／thought] that S V  
「～と言われて [考えられて／思われて] いる」

S V 人 O 物 O  
人 be動詞 過去分詞 物 (by …)  
物 be動詞 (過去分詞 [to／for]) 人 (by …) — give型の動詞 to  
buy型の動詞 for

by以外の前置詞を使う動詞

be動詞 covered／filled with  
killed／injured in be動詞 known to 「～に知られている」  
for 「～で有名だ」  
as 「～として知られている」  
by 「～で判断される」

感情を表す動詞 be excited／shocked [at／about]  
pleased／satisfied／confused／disappointed  
[with／about／at]

be動詞 worried about be動詞 interested in be動詞 made of 材料  
be動詞 surprised at be動詞 delighted [with／at] from 原料  
in 産地

## 助動詞

動詞に話し手の気持ちを加える

助動詞の後は動詞原形 助動詞は2つ並べられない		能力
許可	you can [may] ～ 「～してもよい」 [mayは立場が上] can [may] I ～ ? 「～してもいいですか」	can 現在 could 過去 be動詞 able to
依頼	[can／will] you ～ ? 「～してくれませんか」 [could／would] you ～ ? 「～してくださいませんか」	「～ができる [できた]」

推量	高い	must 「違いない」 will 「だろう」 would 「はずだ」 should ought to 「ありうる」 can 「たぶん」 may 「かも」 might could 「はずがない」 cannot
	可能性 ↑ ↓ 低い	
過去の推量 助動詞 have 過去分詞		
義務・必要	すべき 強い	must ★ have to had better ought to should ▼ notを入れる位置
	禁止	must not may not cannot 「～してはいけない」 don't have to 「～しなくても良い」 不必要
意向を尋ねる		shall I ～ ? 「～しましょうか」 shall we ～ ? 「～しましょう」 = let's
意志		will 「(必ず) ～するつもりだ」 would 「どうしても～しようとした」

may [might] well 「～するは当然だ」  
may [might] as well 「～したほうがいいのでは」

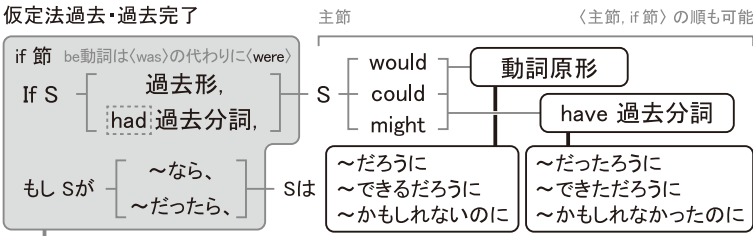
は一般動詞／be動詞  
★ have to = have got to

I would like to 動詞原形 「～したいのですが」  
I would rather 動詞原形 (than…) 「(…するよりも) むしろ～したい」

should [ought to] have 過去分詞 「～すべきだったのに」  
should not [ought not to] have 過去分詞 「～するべきではなかったのに」  
need not have 過去分詞 「～する必要はなかったのに」

## 仮定法

事実と異なることを表現する



as if A 過去形 「Aは、まるで～である [あった] かのよう」 as if = as though  
wish A 過去形 「Aが～なら [だったら] なあ」  
述語動詞より以前のことだと、過去形の代わりに〈had 過去分詞〉

仮定法未来

if S were; to 動詞原形, S would 動詞原形 「もし～するようなことがあったら、…だろう」  
if S should; 動詞原形, S would [will] 動詞原形  
shouldは可能性が少しある場合

if it were not for 名詞(句), 「～がなければ」 肯定文は無い  
if it had not been for 名詞(句), 「～がなかったら」  
it's (high / about) time S 過去形 「(とくに／そろそろ) ～する頃だ」 助動詞不要  
if only S 過去形 [had 過去分詞] ! 「～でありさえすれば [してたら] なあ」 = I wish

## 話法・主節と従属節の時制

間接話法	say (to 人) “話し手の発言そのまま”
直接話法	tell 人 [say (to 人)] (that) 話し手の発言内容を伝言者の視点で表す 提案・忠告 〈advise 人 to 動詞原形〉 勧誘 〈suggest (to 人) that S 動詞原形〉

直接	this	these	here	today	yesterday
間接	that	those	there	that day	the day before / the previous day
直接	now	… ago	tomorrow	next week	
間接	then	… before	the next [following] day	the next [following] week	
直接		間接			
“疑問詞 疑問文”		ask (人) 疑問詞 S V		ask (人) 疑問詞 V	
“Yes/No 疑問文”		ask (人) if [whether] S V			
“命令文”		tell [ask/ order] 人 (not) to 動詞原形			

主節と従属節の時制

時制の一致		新しい過去	古い過去
主節〈過去形〉	従属節〈過去形〉	主節〈過去形〉	従属節〈大過去〉
過去の同じ時点		従属節が主節より以前 <small>had 過去分詞</small>	
時や条件を表す接続詞に導かれる副詞節は、 <u>未来のことでも現在形で表す</u>			
when / before / after / if / unless		will / be動詞 going to は不可	

## 前置詞・接続詞・不定代名詞

前置詞 名詞を直後におく		[ ] は時を表す接続詞にもなる	
above ↑ below ↓	over under	from to for	onto into out of in on
along across	at by near with	around	among between next to behind in front of
at 時刻 on 日付／曜日 in 月／季節／年		← ● ↔ ● → by 「～までに」 until [till] 「～まで」 in 「～後に」 before during after	

副詞節を作る	時	when 「～の時」 since 「～から」 while S V / 動詞ing 「～の間」 as 「～しながら／～するにつれ」 as soon as 「～するとすぐに」
	条件	[ if 「もし～なら」 unless 「もし～でないなら」 as long as 条件 as far as 範囲 ] 「～する限り」
	理由	because [since] 理由 「～なので」 〈because of〉は前置詞扱い even if ～ 「たとえ～だとしても」 although [though] ～ 「～であるが」 so 形容詞 [副詞] that / such (a [an]) 形容詞 名詞 that 「とても…なので～」
名詞節を作る	that S V 「～すること」	主語・補語・目的語になる 形式主語をとる 〈it is [was] ～ that S V〉 目的語になる 〈that〉は省略可能 ただし、形式目的語をとる場合は省略不可
	提案・要求を示す動詞 It is 重要・必要を示す形容詞	that S (should) 動詞原形
接続詞	whether S V 「～かどうか」	主語・補語・目的語になる 形式主語をとることが多い 目的語になる場合は〈whether〉の代わりに〈if〉も可能
	命令文, and / or ～ 「…しなさい、そうすれば／さもなくば～」	

不定代名詞	● ● ○ ○ one another	● ● one the other	○ ○ both (A and B)
			○ ↔ ○ either (A or B)
	● ● ● ○ one others	● ● ● ● one the others	✕ ✕ neither (A nor B)